

## 「四面楚歌」ロッテ...結局ホテルロッテ上場延期

### 金融上など関係機関協議 29 日上場不可結論

ジョンウンホネイチャーリパブリック代表のロッテ免税店入店ロビー疑惑で、今月末に予定されホテルロッテの上場が延期された。

ロッテグループ辛格浩総括会長の長女であり、シン・ドンビン会長の姉であるシンヨウンジャロッテ奨学財団理事長がジョン代表から数億~数十億ウォンの金品を受け取った疑いで今月 2 日、ロッテ免税店の本社と新理事長の自宅を電撃押収捜索したのがクリティカルであった。ホテルロッテと金融委員会、証券取引所などの上場関係機関は 7 日午前、協議の末、29 日に予定していた上場予定の演技が避けられないという結論を下したことが分かった。

ホテルロッテは、すでに前日から香港、シンガポール、ロンドンなどを回って海外投資家を相手に行う予定だったデイルードショー (Deal Roadshow, DR。資金調達説明会) を取り消し、上場延期が予想された。検察の捜査などの重要な変更については、必ず、金融当局など上場関係機関に通知し、協議しなければする連休などで見て日程が遅れて 6 日デイルードショー開始は不可能だった。この日の協議で、関係機関は、海外 DR、機関投資家の需要予測、公募が確定、公募株申請などにつながる上場手続きを 29 日までに完了するがオリョブダミヨ 6 月の上場について否定的な意見をロッテ側に伝達したと伝えられた。

ロッテとの関係機関は、この日の追加協議を通じて、新しい上場スケジュールと条件を出す見通しだ。ホテルロッテは今年 1 月 28 日上場予備審査を通過して有効期間 6 ヶ月以内の来月 28 日まで上場を完了しなければならない。ロッテ側はネイチャーリパブリック免税店入店とロビー時点自体が合わないとし、新理事長個人的な問題に退去させ、ている。しかし、年末に予定されワールドタワー店の特許審査にマイナスの影響を与える可能性があるという観測が出てくるほどのホテルロッテ公募興行にも打撃を与える可能性がある。歴代最大規模更新が有力視されていたホテルロッテ公募が不調する場合公募資金を免税店・ホテル事業に投入して成長動力の拡充を狙っていたロッテの構想にも支障が避けられないとなる。

2016-06-07 09:27 | CBS ノーカットニュースジョン記者